

科目名	授業形態	担当教員名	
救急医学概論	講義	金高 雅輝	
時間数（単位数）	授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）	8 回	3 年次	前期
授業の目的・概要			
救急診療では、理学的所見だけでなく、画像診断も重要な役割を占めている。多様な患者を受け入れ、時間的制約がある救急医療の現場で、どのように検査を行い、診断治療に役立つ情報を提供できるのか。診療放射線技師が救急医療に携わるために必要な用語、知識、検査を行う際に必要な撮影技術を修得する。			
授業の到達目標			
①救急医療で使用される専門用語およびその定義について説明する。 ②診療放射線技師が救急検査に携わる際に、必要な知識、撮影技術を説明する。 ③救急医療における代表的な画像所見について、指摘し、同定する。			
授業計画			
回	内容		
1	救急医療とは 専門用語の定義と解説		
2	胸部の救急撮影－1 胸部疾患・外傷の代表的な画像所見		
3	胸部の救急撮影－2 胸部疾患・外傷の代表的な画像所見		
4	腹部・骨盤の救急撮影－1 腹部・骨盤疾患・外傷の代表的な画像所見		
5	腹部・骨盤の救急撮影－2 腹部・骨盤疾患・外傷の代表的な画像所見		
6	頭部・脊椎の救急撮影－1 頭部・脊椎疾患・外傷の代表的な画像所見		
7	頭部・脊椎の救急撮影－2 頭部・脊椎疾患・外傷の代表的な画像所見		
8	救急撮影で用いられる各種画像診断の特徴、まとめ		
成績の評価法と基準			
種別	割合	評価基準・その他備考	
定期試験	90%		
レポート	10%		
小テスト			
平常点			
その他			
自由記載	講義資料を配布する。		
教科書			
書名	著者・編集者名	出版社名	
標準救急撮影法	日本放射線技術学会 坂下恵治	オーム社	
自由記載			
参考文献			
書名	著者・編集者名	出版社名	
自由記載			
備考			